



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月11日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 リンガーハット

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部兼品質保証チーム担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日 配当支払開始予定日 平成28年11月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	21,361	5.8	1,356	6.7	1,282	8.6	894	35.2
28年2月期第2四半期	20,185	8.9	1,271	83.3	1,180	80.0	661	451.8

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 662百万円 (△4.0%) 28年2月期第2四半期 689百万円 (265.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	42.04	—
28年2月期第2四半期	30.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	26,220	10,472	39.9	502.16
28年2月期	25,828	11,169	43.2	522.79

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 10,472百万円 28年2月期 11,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	9.00	—	8.00	17.00
29年2月期	—	9.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	8.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	3.3	3,100	9.4	3,000	11.9	1,400	10.1	64.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期2Q	22,067,972 株	28年2月期	22,067,972 株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	1,212,760 株	28年2月期	702,057 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期2Q	21,269,014 株	28年2月期2Q	21,966,596 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2)本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び10ページ「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済及び金融政策により緩やかな回復基調が続いているものの、世界経済の不透明感は増大し、株価や為替が不安定になるなど、依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、消費者の節約志向により個人消費が伸び悩むなかで、ライフスタイルの変化等による食の多様化が進み、業種を越えた競争は激化しております。

このような状況の中、当社グループは野菜の国産化をはじめとした「食の安全・安心」に取り組み続け、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

国内の出店及び退店につきましては、「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を高知県に初出店するなど37店舗を出店し、7店舗を退店いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は前連結会計年度末より30店舗増加し、国内730店舗、海外11店舗の計741店舗(内直営532店舗、F C 209店舗)となりました。

既存店の売上高につきましては、当社グループ全店舗の当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は101.4%と好調に推移いたしました。

以上の結果、平成28年4月に発生した「熊本地震」による影響もありましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は213億61百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は13億56百万円(同6.7%増)、経常利益は12億82百万円(同8.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億94百万円(同35.2%増)と、増収増益となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」につきましては、平成28年3月より500円台メニューとして「まぜ辛めん」を販売開始、4月より紅白2種類の「冷やしちゃんぽん」を夏季限定販売いたしました。

また、安定確保が非常に困難なため野菜国産化移行時には見合わせていた国内自給率わずか3%という希少な「国産のきくらげ」を平成28年8月より全店舗に導入いたしました。

さらに、お客さま満足度向上のために、調理認定制度とサービス認定制度の運用を強化し、Q S Cのレベルアップに取り組みました。

新規出店では、平成28年4月に新業態のぎょうざ専門店「GYOZA LABOセブンパークアリオ柏店」を出店、7月には当社初の「バル(Barのスペイン語読み)」スタイルの店舗を出店するなど新しいニーズを探る新業態にもチャレンジしながら、国内のショッピングセンターを中心に35店舗を出店いたしました。

一方、不採算店舗の閉鎖やリロケーションにより7店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で619店舗、海外で9店舗の計628店舗(うちフランチャイズ店舗191店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は101.8%となり、売上高は160億44百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は9億57百万円(同24.7%増)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」につきましては、とんかつの美味しさと安全な食材へのこだわり、ごはん・味噌汁・キャベツが2種類から選べる食の楽しさ、そして「お客さまに楽しい食事のひとときを、心ゆくまで味わっていただきたい」という、おもてなしの心をお客さまに伝える施策に取り組んでまいりました。

販売施策では、夏の定番商品としてご好評をいただいている「梅しそ巻」2商品と、新たに「梅しそ巻とわさびおろし膳」を平成28年5月より期間限定販売いたしました。

また、より一層おいしく、安全・安心で高付加価値の商品づくりに努めるために、平成28年7月に一部商品の価格改定を実施いたしました。

さらに、お客さま満足度向上のために、調理認定制度とサービス認定制度の運用を強化しており、Q S Cのレベルアップにつながっております。

当第2四半期連結累計期間末の店舗数は2店舗を出店した結果、国内で111店舗(卓袱浜勝を含む)、海外で2店舗の計113店舗(うちフランチャイズ店舗18店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は100.2%となり、売上高は51億76百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は3億6百万円(同26.5%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

リンガーハット開発株式会社につきましては、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億10百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益1億8百万円(同17.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億91百万円増加し、262億20百万円となりました。これは主に積極的な出店に伴う有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億89百万円増加し、157億47百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億97百万円減少し、104億72百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び自己株式の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月7日に発表した前回予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,711,400	1,580,513
売掛金	633,775	835,432
商品及び製品	62,069	60,054
仕掛品	22,152	9,564
原材料及び貯蔵品	245,794	288,947
前払費用	340,376	343,359
繰延税金資産	119,281	120,119
未収入金	550,946	891,976
その他	216,939	226,854
流動資産合計	3,902,734	4,356,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,642,846	9,407,610
機械装置及び運搬具(純額)	790,882	777,991
土地	4,804,693	4,820,693
リース資産(純額)	183,431	225,980
建設仮勘定	116,856	36,207
その他(純額)	777,021	801,109
有形固定資産合計	15,315,732	16,069,593
無形固定資産	384,994	374,499
投資その他の資産		
投資有価証券	1,719,252	710,340
退職給付に係る資産	62,273	68,403
差入保証金	1,052,500	1,090,540
建設協力金	84,898	138,405
敷金	2,468,699	2,564,987
繰延税金資産	520,462	619,286
その他	339,543	250,083
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,225,023	5,419,440
固定資産合計	21,925,750	21,863,533
資産合計	25,828,485	26,220,354

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	878,196	1,098,675
1年内償還予定の社債	256,000	256,000
短期借入金	2,290,000	2,760,000
1年内返済予定の長期借入金	1,428,459	1,391,201
リース債務	105,956	123,032
未払金	722,688	796,953
未払費用	932,546	1,063,176
未払法人税等	563,432	359,711
未払消費税等	311,916	205,911
株主優待引当金	67,338	78,449
店舗閉鎖損失引当金	—	10,050
販売促進引当金	6,356	4,611
資産除去債務	2,002	11,300
その他	296,942	414,138
流動負債合計	7,861,834	8,573,211
固定負債		
社債	1,232,000	1,104,000
長期借入金	2,293,370	2,679,808
長期未払金	428,715	420,336
リース債務	305,229	321,378
株式給付引当金	56,750	85,440
退職給付に係る負債	935,972	955,628
長期預り保証金	391,017	394,517
資産除去債務	1,129,767	1,188,729
その他	23,982	24,736
固定負債合計	6,796,805	7,174,574
負債合計	14,658,640	15,747,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	5,066,122
資本剰余金	4,486,942	4,486,942
利益剰余金	2,818,809	3,541,317
自己株式	△1,621,762	△2,809,742
株主資本合計	10,750,112	10,284,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297,843	113,123
為替換算調整勘定	87,474	52,806
退職給付に係る調整累計額	34,415	21,998
その他の包括利益累計額合計	419,732	187,928
純資産合計	11,169,845	10,472,568
負債純資産合計	25,828,485	26,220,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	19,490,732	20,754,437
売上原価	6,423,522	6,767,331
売上総利益	13,067,210	13,987,105
その他の営業収入	694,892	607,174
営業総利益	13,762,102	14,594,279
販売費及び一般管理費	12,490,774	13,237,996
営業利益	1,271,327	1,356,283
営業外収益		
受取利息	2,998	2,514
受取配当金	10,955	13,816
その他	10,626	22,827
営業外収益合計	24,580	39,158
営業外費用		
支払利息	36,733	38,495
持分法による投資損失	2,472	7,395
社債発行費	22,568	—
為替差損	22,016	30,206
その他	31,225	36,870
営業外費用合計	115,016	112,967
経常利益	1,180,890	1,282,473
特別利益		
固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	—	201,123
収用補償金	4,433	21,166
その他	—	6,373
特別利益合計	4,446	228,663
特別損失		
固定資産売却損	352	—
固定資産除却損	16,174	1,235
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11,297	14,372
減損損失	60,453	55,566
災害による損失	—	24,512
特別損失合計	88,279	95,687
税金等調整前四半期純利益	1,097,058	1,415,449
法人税等	435,566	521,297
四半期純利益	661,491	894,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	661,491	894,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	661,491	894,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,562	△184,720
為替換算調整勘定	18,594	△23,979
退職給付に係る調整額	△518	△12,416
持分法適用会社に対する持分相当額	1,502	△10,688
その他の包括利益合計	28,140	△231,804
四半期包括利益	689,632	662,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,632	662,346
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,097,058	1,415,449
減価償却費	649,724	702,787
減損損失	60,453	55,566
のれん償却額	9,758	1,914
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,072	11,111
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	129,114	19,656
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△106,418	△6,129
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	7,197	10,050
受取利息及び受取配当金	△13,953	△16,330
支払利息	36,733	38,495
社債発行費	22,568	—
持分法による投資損益(△は益)	2,472	7,395
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△201,123
固定資産売却損益(△は益)	339	—
固定資産除却損	16,174	1,235
売上債権の増減額(△は増加)	△103,875	△201,657
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,885	△28,550
仕入債務の増減額(△は減少)	168,416	220,479
未払消費税等の増減額(△は減少)	△276,400	△106,005
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△82,841	△355,372
その他の流動負債の増減額(△は減少)	112,965	378,650
長期未払金の増減額(△は減少)	1,747	△8,379
預り保証金の増減額(△は減少)	2,856	3,500
その他	29,752	47,327
小計	1,789,657	1,990,068
利息及び配当金の受取額	12,603	14,775
利息の支払額	△34,257	△38,139
法人税等の支払額	△604,833	△720,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,163,169	1,246,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,041,282	△1,458,555
有形固定資産の売却による収入	461,820	—
無形固定資産の取得による支出	△7,517	△14,559
建設協力金等の支払による支出	△84,780	△157,770
建設協力金等の回収による収入	126,002	55,362
投資有価証券の取得による支出	△1,269	△1,283
投資有価証券の売却による収入	—	1,029,501
子会社株式の取得による支出	△1,977	△115,226
その他	△13,937	8,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△562,940	△653,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	470,000
長期借入れによる収入	—	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,459,076	△850,820
社債の発行による収入	977,431	—
社債の償還による支出	△110,000	△128,000
自己株式の売却による収入	685	2,154
自己株式の取得による支出	△3,286	△1,190,134
配当金の支払額	△175,397	△153,168
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△48,842	△59,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△808,484	△709,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,925	△14,047
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△190,330	△130,887
現金及び現金同等物の期首残高	1,857,072	1,711,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,666,742	1,580,513

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年7月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第2四半期連結累計期間において、自己株式を1,189,237千円(511,500株)取得しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式の残高は2,809,742千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	15,030,438	5,077,422	77,763	20,185,625	—	20,185,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	854,569	854,569	△854,569	—
計	15,030,438	5,077,422	932,332	21,040,194	△854,569	20,185,625
セグメント利益	768,321	417,381	92,650	1,278,352	△7,024	1,271,327

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,024千円には、セグメント間取引消去4,564千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,588千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は29,010千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は31,443千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	16,044,628	5,176,882	140,100	21,361,611	—	21,361,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	870,455	870,455	△870,455	—
計	16,044,628	5,176,882	1,010,556	22,232,067	△870,455	21,361,611
セグメント利益	957,730	306,741	108,922	1,373,393	△17,110	1,356,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△17,110千円には、セグメント間取引消去16,459千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△33,569千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は55,566千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成29年 2月期	売上高 (百万円)	13,635	5,306	18,942	4,838	894	5,733	299	317	25,293
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	437	191	628	95	18	113	—	—	741
平成28年 2月期	売上高 (百万円)	12,597	5,168	17,765	4,682	894	5,577	298	236	23,878
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	408	186	594	90	19	109	—	—	703
対前年比率	売上高	108.2%	102.7%	106.6%	103.3%	100.1%	102.8%	100.6%	134.6%	105.9%
	店舗数	107.1%	102.7%	105.7%	105.6%	94.7%	103.7%	—	—	105.5%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。